

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 平成 18 年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

平成 17 年度北海道農業試験会議（成績会議）において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、現場が担当または分担した提出課題（農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く）は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

－優良品種－

（作物開発部会）

- てんさい新品種候補「H135」（北見農試、十勝農試、中央農試作物研究部畑作科、上川農試）
- てんさい新品種候補「HT28」（北見農試、十勝農試、中央農試作物研究部畑作科、上川農試）

(2) 普及推進事項

－優良品種－

（作物開発部会）

- ばれいしょ新品種候補「CP04」（北見農試、中央農試作物研究部畑作科、上川農試、道南農試、十勝農試、北海道馬鈴しょ協議会）

－推進技術－

（作物開発部会）

- ダイズシストセンチュウ発生圃場に抵抗性品種を効果的に導入するための簡易判定法（中央農試作物研究部畑作科、技術普及部、道南農試）
（農業環境部会）
- パン用春まき小麦「はるきらり（北見春 67 号）」の高品質安定栽培法（上川農試、中央農試作物研究部畑作科、基盤研究部農産品質科）
- めん用秋まき小麦「きたほなみ」の高品質安定栽培法（生産環境部栽培環境科、作物研究部畑作科、上川農試畑作園芸科、十勝農試栽培環境科、北見農試麦類科）
（クリーン農業部会）
- たまねぎのネギアザミウマと白斑葉枯病に対する簡易モニタリングによる発生対応型防除法（生産環境部予察

科、北見農試）

（総合部会）

- 道北強粘質転換畑における耕起法を組み合わせた作付体系モデル（上川農試技術体系化チーム、生産研究部機械科）

(3) 指導参考事項

（作物開発部会）

- ぶどうの品種特性（作物研究部果樹科）
- 西洋なしの品種特性（作物研究部果樹科）
- 新資材（畑作物・果樹除草剤及び生育調節剤）の実用化（作物研究部畑作科等）
（花・野菜部会）
- まさかりかぼちゃ及び札幌大球キャベツの特性（花・野菜技術センター技術体系化チーム、遺伝資源部資源貯蔵科）
（農業環境部会）
- 北海道における有機性廃棄物によるカドミウム負荷の実態と土壌・作物へのリスク軽減策（環境保全部農業環境科、道南農試栽培環境科、天北支場技術普及部）
- 土壌診断のための簡易分析法 — pH, N, P₂O₅, SiO₂, Cu, Zn, B, Fe₂O₃ —（生産環境部栽培環境科、上川農試栽培環境科）
- 北海道の農耕地および未耕地における重金属類の賦存量（技術普及部、環境保全部）
（クリーン農業部会）
- 種ばれいしょ栽培における生育調節剤による茎葉処理とウイルス感染（環境保全部クリーン農業科、基盤研究部遺伝子工学科）
- アスパラガス立茎栽培における病害虫管理技術（環境保全部クリーン農業科、花・野菜技術センター病虫科）
- 水稻のアカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用剤の残効特性と施用時期（環境保全部クリーン農業科、上川農試病虫科）
- 平成 19 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（病害虫防除所、生産環境部予察科・病虫科、環境保全部クリーン農業科、上川農試、道南農試、十勝農試、北見農試、花・野菜技術センター、技術普及課、北海道農業研究センター）
（生産システム部会）
- 飛散防止カバー付き畦間散布装置を用いた除草剤の低

飛散・畦間散布技術（生産研究部機械科）

○水稲品種「おぼろづき」の食味評価と石狩・空知南部地域における栽培特性（生産研究部水田・転作科）

○砂質客土埋設工法による泥炭土水田の米粒タンパク質低減技術（生産研究部水田・転作科）

○道央転換畑における秋まき小麦の収量・品質変動要因と改善策（生産研究部水田・転作科，生産環境部栽培環境科）

○平成 19 年度水稲関係除草剤使用基準（生産研究部水田・転作科，上川農試栽培環境科，道南農試作物科）
（農産工学部会）

○ジャガイモ Y ウイルスに対するモノクローナル抗体の作製と高精度検出法（基盤研究部遺伝子工学科）

○農業現場で活用可能な小豆ポリフェノールの非破壊測定技術（基盤研究部農産品質科）

(4) 研究参考事項

（作物開発部会）

○「WILIS」由来のダイズわい化病高度抵抗性選抜法と育種素材の開発（遺伝資源部資源利用科，基盤研究部遺伝子工学科）

（クリーン農業部会）

○ダイズ茎疫病抵抗性の圃場検定法（遺伝資源部資源利用科）

○ばれいしょの種いも伝染性細菌病の簡易で高精度な保菌検定法（生産環境部病虫科，北農研センターバレイショ栽培研究チーム）

（農業環境部会）

○てんさい、たまねぎおよびレタスに対するアズスピリラム菌の接種効果（北見農試，環境保全部土壤生態科）

（農産工学部会）

○小麦品質関連遺伝子型を判別する DNA マーカー（基盤研究部遺伝子工学科）

(5) 行政参考事項

なし

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

環境保全部

○末久美由紀，中津智史，中本洋．植生帯が浅層地下水中の硝酸性窒素濃度に及ぼす影響．農業土木学会誌．75

(5)，p36-37（2007）

松岡祐司．○北川巖．鉄付着防止暗渠土管による低コストな管閉塞軽減技術．農業土木学会誌．75(10)，p.40-41（2007）

○北川巖，中本洋．鉄付着防止暗渠土管による低コストな暗渠管閉塞軽減効果．平成 18 年度新しい研究成果－北海道地域－．p.104-108（2007）

○中津智史，奥村理，山木一史．北海道産コムギ品種における中華麺適性の評価．日本作物学会紀事．76(3)，p.416-422（2007）

○笛木伸彦，谷昌幸，中津智史．黒ボク土からのアンモニア揮散に及ぼす土壌 pH・温度・施用窒素形態の影響．日本土壌肥科学雑誌．78，p.309-312（2007）

○笛木伸彦，山神正弘，東田修司，中津智史．直播テンサイの発芽および初期生育に対する作条基肥窒素量と施肥位置の影響．日本土壌肥科学雑誌．78，p.497-500（2007）

○笛木伸彦，東田修司，中津智史．直播テンサイにおける全層施肥による初期生育改善とその要因解析．日本土壌肥科学雑誌．78，p.559-564（2007）

○笛木伸彦，中津智史．降水条件と施肥法の違いが直播栽培テンサイの根重および糖量に与える影響．日本土壌肥科学雑誌．78，p.591-596（2007）

○佐藤康司，中津智史，三木直倫，中村隆一，笛木伸彦，志賀弘行．秋まきコムギの起生期における土壌硝酸態窒素診断による窒素追肥量の設定．日本土壌肥科学雑誌．79，p.45-52（2008）

○橋本均．北海道における土壌保全対策事業の成果の活用．ペドロジスト．51，p.119-126（2007）

○青木元彦．ハウス立茎栽培におけるジュウシホシクビナガハムシの被害と幼虫期防除の効果．北日本病害虫研究会報．58，p.131-134（2007）

○青木元彦，斉藤美樹，佐々木武志，平田修一，田辺博司．ハスカップのナガチャコガネに対する昆虫寄生性線虫 *Steinernema glaseri* による防除効果．北日本病害虫研究会報．58，p.135-137（2007）

○中辻 敏朗．北海道北部重粘土草地の牧草生産性に対する低水分ストレスの影響評価に関する研究．道立農試報告．119，p.1-53（2008）

○Sakurai, M., Suzuki, K., Onodera, M., Shinano, T., and Osaki, M. Analysis of bacterial communities in soil by PCR-DGGE targeting protease genes. *Soil Biology & Biochemistry*. 39, p.2777-2784（2007）

○Sakurai, M., Wasaki, J., Tomizawa, Y., Shinano, T., and Osaki, M. Analysis of bacterial communities on alkaline phosphatase genes in soil supplied with organic matter. *Soil*

Science & Plant Nutrition. 54, p.62-71 (2008)

基盤研究部

- 相馬ちひろ, 奥村理, 加藤淳, 松島克幸, 佐藤定泰, 山下隆志, 本田博之. 光センサーによるナガイモの品質(乾物率・ねばり)測定技術. 北海道立農業試験場集報. 91, p.15-22 (2007)
- 相馬ちひろ, 奥村理, 加藤淳. 小豆熱水抽出物が人体の生理調節機能に及ぼす影響. 北海道立農業試験場集報. 91, p.23-29 (2007)

作物研究部

- 秋まきコムギ新品種「きたほなみ」の育成. 柳沢朗, 吉村康弘, 天野洋一, 小林聡, 西村努, 中道浩司, 荒木和哉, 谷藤健, 田引正, 三上浩輝, 池永充伸, 佐藤奈奈. 北海道立農試集報. 91, p.1-13 (2007)
- 田中義則, 飯田修三, 水越亨. ダイズシストセンチュウの簡易レース診断法(予報). 北日本病虫研報. 58, p.199 (2007)
- 三好智明, 鴻坂扶美子, 田中義則, 白井和栄, 村田吉平, 高宮泰宏, 萩原誠司, 足立大山. 粒大が極めて大きく、裂皮の少ない大豆新品種「中育 52 号」. 平成 18 年度 新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業研究センター. p.41-44 (2007)
- 本田裕, 六笠裕治, 鈴木達郎, 横田聡, 我妻正迪, 中司啓二, 木村正義, 神野裕信, 佐藤導謙, 田中義則, 奥村理, 谷藤健, 菅原章人. 安定多収で、麺及び茶に加工適性のあるだったんそば新品種「北海 T8 号」とその栽培技術. 平成 18 年度 新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業研究センター. p.48-51 (2007)

生産研究部

- 金子 剛, 三宅俊輔. 修学旅行生を対象にした農家民宿の受入効果と組織化方策. 平成 18 年度—新しい研究成果—. 北海道農業研究センター. p.4-8 (2007)
- 金子 剛. 修学旅行を対象とした農家民宿が及ぼす農家及び農村への効果. 北農. 74, p.375-380 (2007)
- Nonoue, Y., Fujino, K., Hirayama, Y., Yamanouchi, U., Lin, S. Y., and Yano, M. Detection of quantitative trait loci controlling extremely early heading in rice. Theor Appl Genet. 116, p.715-722 (2008)
- 丹野久, 田中英彦, 佐々木亮, 古原洋, 三浦周. 寒地水稲の湛水土中直播栽培における簡易有効積算気温による品種選定. 日本作物学会紀事. 76, p.591-599 (2007)

- 丹野久, 相川宗巖, 山崎信弘, 森脇良三郎, 天野高久. 寒地における水稲の湛水土中直播栽培の播種様式が収量に及ぼす影響. 日本作物学会紀事. 76, p.586-590 (2007)
- 塚本康貴, 竹内晴信, 北川巖. 転換畑におけるダイズの生産力判定のためのシリンダーインタークレート法による土壌物理性評価. 農業農村工学会誌. 76, p.138-139 (2007).
- 熊谷聡, 田中英彦, 長田亨, 中森朋子, 二門世, 五十嵐俊成. 水稲品種「大地の星」の安定多収栽培法. 平成 18 年度新しい研究成果—北海道地域—. 北海道農業研究センター. p.12-16 (2007)
- 熊谷聡, 五十嵐俊成, 二門世, 田中英彦. 水稲品種「大地の星」の安定多収栽培法. 北農. 75, p.20-26 (2008)

生産環境部

- 中尾弘志, 土屋俊雄, 秋山安義. 春播小麦「ハルユタカ」におけるムギキモグリバエの発生被害実態と防除対策. I. 上川地方における「ハルユタカ」の低収要因. 北海道立農試集報. 91, p.41-50 (2007)
- 新村昭憲. 北海道におけるニンジン乾腐病の発生実態. 北日本病害虫研究会報. 58, p.38-41 (2007)
- 新村昭憲. *Fusarium solani* f.sp.*radicicola* によるニンジン乾腐病の発病要因. 北日本病害虫研究会報. 58, p.42-45 (2007)
- 岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二. ヨトウガに対する IGR 剤の長期残効. 北日本病害虫研究会報. 58, p.138-140 (2007)
- 岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二, 小坂善仁, 水越亨, 斉藤美樹, 清水理沙. バラ科小果樹アロニアの害虫. 北日本病害虫研究会報. 58, p.178-182 (2007)
- 岩崎暁生, 有田豊. 北海道からのフサスグリの外来種スカシバガ(スカシバガ科)の発見. 蝶と蛾. 59, p.45-48 (2008)
- 角野晶大, 池田信, 柿崎由紀, 成松靖, 松本勇, 田中穰. イチゴ葉縁退緑病の北海道における発生. 北日本病害虫研究会報. 58, p.54-56 (2007)
- 宮森康雄. 玄米収量と白米タンパク質含有率を利用した水稲の窒素施肥量設定法. 日本土壌肥料学雑誌. 78, p.213-216 (2008)
- 小野寺政行, 中本洋. 北海道における堆肥と各種有機質肥料を用いた露地野菜の無化学肥料栽培. 日本土壌肥料学雑誌. 78, p.611-616 (2007)

技術普及部

○Uchino A, Ogata S, Kohara H, Yoshida S, Yoshioka T, Watanabe H. Molecular basis of diverse responses to acetolactate synthase-inhibiting herbicides in sulfonylurea-resistant biotypes of *Schoenoplectus juncooides*. *Weed Biology and Management*. 7, p.89-96 (2007)

(2) 口頭発表

環境保全部

○末久美由紀, 中津智史, 中本洋, 北川巖. 土壌下層への有機物埋設が土壌溶液中の硝酸性窒素濃度に及ぼす影響. 第49回土壌物理学学会講演要旨集. p.86-87 (2007)

○末久美由紀, 中津智史, 中本洋, 北川巖. 土壌下層への有機物埋設が土壌溶液中の硝酸性窒素濃度に及ぼす影響. 第56回農業農村工学会北海道支部研究発表会講演集. p.62-65 (2007)

○中津智史, 中本洋, 松本武彦, 五十嵐俊成, 菅原彰. 北海道における水稲カドミウム濃度の変動要因. 日本土壌肥料学会北海道支部会秋季大会講演要旨集. p.5 (2007)

○橋本均. 土の絵の具で絵を描く. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 53, p.198 (2007)

○橋本庸三, 齊藤美樹. アカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用剤の残効期間 (1)ポット試験. 北日本病害虫研究会報. 58, p.196 (2007)

○齊藤美樹, 橋本庸三. アカヒゲホソミドリカスミカメに対する水面施用剤の残効期間 (2)水田網柵試験. 北日本病害虫研究会報. 58, p.196 (2007)

○中辻敏朗, 唐星児. 農耕地の窒素収支に基づく土壌浸透水の硝酸汚染リスク評価モデルの開発. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 53, p.4 (2007)

○富沢ゆい子, 中辻敏郎. レタスに対するアゾスピリラム菌の接種効果と効果発現に関わる諸要因. 日本土壌肥料学会講演要旨集. 53, p.52 (2007)

基盤研究部

○樋浦里志, 富田謙一, 玉掛秀人. テンサイ育成系統における培養適性の系統間差異. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会報. 48, p.121-122 (2007)

○江部成彦, 奥山昌隆, 佐々木純, 竹内徹. 連続戻し交配とマーカー選抜によるインゲンマメ黄化病抵抗性系統の育成. 日本育種学会 第113回講演会. p.173 (2008)

○紙谷元一, 佐々木純, 齊藤美樹, 兼平修, 橋本庸三, 三好智明, 田中義則, 鴻坂扶美子, 大西志全, 田澤暁子,

神野裕信, 竹内徹. ダイズわい化ウイルスを媒介するジャガイモヒゲナガアブラムシに対する抵抗性の QTL 解析と DNA マーカー開発. 日本育種学会 第113回講演会. p.146 (2008)

○鈴木孝子, 神野裕伸, 中道浩司, 佐藤奈奈, 西村努, 小林聡, 池永充伸, 吉村康弘, 竹内徹. 道立農試の小麦育種における DNA マーカーの利用. 日本育種学会・作物学会北海道談話会報. 48, p.67-68 (2007)

○鈴木孝子. DNA でわかる! パンやうどんにいい小麦. 平成20年(第26回)農業新技術発表会要旨. p.11-12 (2008)

○鈴木孝子, 竹内徹. ピュロインドリン a 遺伝子欠失変異(Pina-D1b)型コムギの遺伝子解析と DNA マーカーの開発. 日本育種学会 第113回講演会. p.140 (2008)

○鈴木孝子, 竹内徹. 北海道における抵抗性およびかび毒低蓄積性 DNA マーカー選抜について. 赤かび研究会資料. p.16-18 (2007)

○竹内徹. 分子マーカーを利用した病害抵抗性育種. 日本植物病理学会第206回談話会. 日本植物病理学会北海道部会報. p.6-13 (2007)

○竹内徹. コムギ縞萎縮病抵抗性が異なるウイルス感染率の推移. 第61回北日本病害虫研究発表会 (2008) (要旨集なし)

○竹内徹, 佐々木純, 鈴木孝子, 堀田治邦, 池谷聡. ジャガイモ Y ウイルス抵抗性遺伝子 Ry_{enc} およびジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子 H1 の高密度連鎖地図と高精度 DNA マーカー. 日本育種学会 第113回講演会. p.148 (2008)

○堀田治邦, 佐々木純, 竹内徹. 北海道で発生したジャガイモ Y ウイルスによるピーマンモザイク病. 第61回北日本病害虫研究発表会 (2008) (要旨集なし)

○三澤知央, 栢森美如, 堀田治邦. *Colletotrichum acutatum* による萎凋性のイチゴ炭疽病の発生. 日本植物病理学会報. 74, p.82 (2008)

○長田亨, 阿部一世, 神田英毅, 柳原哲司, 葛城寿史. α 化米製品原料としての北海道産酒米品種の適性評価. 日本食品科学工学会第54回大会講演集. p.70 (2007)

遺伝資源部

○山下陽子. 北海道におけるダイズ茎疫病抵抗性研究～圃場抵抗性を評価できる圃場検定法の確立～. 第2回大豆茎疫病に関する研究会 (2008.3.13)

作物開発部

○大西志全. 大豆の病害虫抵抗性育種における分子マーカー利用の実際. 平成 19 年度日本植物病理学会北海道部会談話会 (2007) (要旨集なし)

○大西志全・鴻坂扶美子・三好智明・田中義則. ダイズ裂開粒の発生要因の解明と発生の品種間差. 日本育種・作物学会北海道談話会. 48, p.99-100 (2007)

○鴻坂扶美子・田中義則・白井和栄・村田吉平・三好智明・高宮泰宏・萩原誠司・足立大山. 北海道で最も粒が大きい白目大豆新品種「中育 52 号」. 日本育種学会. 9 (別2), p.110 (2007)

○鴻坂扶美子・大西志全・田中義則. 開花期以降の気象条件からみたダイズ裂皮発生要因. 日本育種・作物学会北海道談話会. 48, p.97-98 (2007)

○池田達哉・大西志全・千田峰生・石本政男・喜多村啓介・三好智明・船附秀行. ダイズ品種「トヨハルカ」の耐冷性に関連する QTL. 日本育種・作物学会北海道談話会. 48, p.101-102 (2007)

○柳沢朗・吉村康弘・小林聡・西村努・前野眞司・渡辺祐志. 秋まき小麦の多収性育種に関する一考察―「きたほなみ」を例として―. 日本育種・作物学会北海道談話会. 48, p.73-74 (2007)

○柳沢朗, 吉村康弘, 小林聡, 西村努, 前野眞司, 渡辺祐志, 小野寺政行, 須田達也. 「きたほなみ」の収量形質からみた秋まき小麦の多収性育種について. 育種学研究. 10 (別1), p.169 (2008)

○紙谷元一, 佐々木純, 齋藤美樹, 兼平修, 橋本庸三, 三好智明, 田中義則, 鴻坂扶美子, 大西志全, 田澤暁子, 神野裕信, 竹内徹. ダイズわい化ウイルスを媒介するジャガイモヒゲナガアブラムシに対する抵抗性の QTL 解析と DNA マーカー開発. 育種学研究. 10 (別1), p.146 (2008)

○大西志全, 三宅規文, 兼平修, 鴻坂扶美子, 三好智明, 竹内徹, 堀田治邦, 紙谷元一, 田中義則. 「Adams」由来ジャガイモヒゲナガアブラムシ抵抗性 QTL の戻し交配による導入はジャガイモヒゲナガアブラムシ抵抗性およびダイズわい化病抵抗性を向上させる. 育種学研究. 10 (別1), p.147 (2008)

生産研究部

○木村義彰, 大波正寿, 原圭祐, 石井耕太. てんさい直播栽培におけるソイルクラストによる初期生育障害の物理的軽減対策. 農業環境工学関連学会 2007 年合同大会. p.59 (2007)

○白井康裕, 木村義彰, 原圭祐, 石井耕太, 五十嵐正和. 温度推移からみた連続式温湯消毒機の特性と利用場面で

の課題. 農業機械学会北海道支部第 58 回年次大会講演要旨集. p.54-55 (2007)

○原圭祐, 木村義彰, 石井耕太. 小豆の吸水性を向上させる研磨方法. 農業環境工学関連学会 2007 年合同大会. (2007) (冊子体なし(CD 配布))

○原圭祐. 近赤外および紫外線分光法の小麦 DON 分析への適応性. 農業機械学会北海道支部大会. p.58-59 (2007)

○塚本康貴, 北川巖, 竹内晴信. 泥炭土水田での砂質客土埋設工法による水稻の窒素吸収抑制効果. 第 56 回農業農村工学会北海道支部研究発表会講演集. 21, p.106-111 (2007)

○熊谷聡, 後藤英次, 丹野久. 水稻湛水直播栽培における種子の鉄コーティングが発芽性に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会北海道支部秋季大会要旨. p.6 (2007)

○杉川陽一, 塚本康貴. 道央転換畑における土壌水分環境が秋まき小麦「ホクシン」の収量・品質に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会北海道支部秋季大会要旨. p.8 (2007)

○其田達也, 吉村徹, 田中一生. 2007 年南空知地域における水稻の作柄不良の要因について―上川中央部との比較―. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報. 48, p.37-38 (2007)

生産環境部

○三宅規文, 田中義則, 堀一嘉, 武澤友二, 岩崎暁生. ハスモンヨトウ抵抗性ダイズ品種のヨトウガに対する生育阻害効果. 第 61 回北日本病害虫研究発表会. (2008.2.7)

○新村昭憲, 池谷美奈子, 小松勉, 伊藤健. タマネギ白斑葉枯病の発生対応型防除. 第 61 回北日本病害虫研究発表会. (2008.2.8)

○岩崎暁生. 施設内・露地でん菜ほ場におけるアシグロハモグリバエの発生経過. 第 61 回北日本病害虫研究発表会. (2008.2.8)

○岩崎暁生, 三宅規文, 武澤友二, 堀一嘉. ヨトウガに対する数種昆虫成長制御剤 (IGR 剤) の長期残効. 第 52 回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集. p.38 (2008)

○岩崎暁生. アシグロハモグリバエの発生経過とナモグリバエの長距離飛来. 第 52 回日本応用動物昆虫学会大会講演要旨集. p.198 (2008)

○古川勝弘, 三宅規文. たまねぎのネギアザミウマの食害程度による薬剤散布開始時期決定法. 第 61 回北日本病害虫研究発表会. (2008.2.8)

○有田豊, 岩崎暁生. 北海道からフサスグリの外来種スカシバガの発見とその生態. 日本蛾類学会 2008 年度総会 研究発表会講演要旨集. p.6 (2008)

○堀田光生, 田中 文夫. PCR によるジャガイモ黒あし病菌の検出法の検討. 日本植物病理学会報. 74, p.42 (2008)

○相馬潤. 赤かび病抵抗性の異なる春播コムギ品種・系統の赤かび粒中デオキシニバレノール濃度. 北日本病害虫研究会報. 58, p.186 (2007)

○佐藤敏郎, 相馬潤, 古屋廣光, 内藤秀樹, 藤晋一. 北海道のイネから分離した赤かび病菌の同定. 日本植物病理学会報. 73, p.176 (2007)

○相馬潤. 北海道の春播コムギにおける赤かび病とデオキシニバレノール汚染低減のための薬剤散布回数. 日本植物病理学会報. 73, p.195 (2007)

○相馬潤. 赤かび病抵抗性春播コムギにおける外観健全粒への病原菌感染. 日本植物病理学会報. 74, p.80 (2008)

技術普及部

○佐々木康洋, 松田耕, 田中義春, 鉢呂隆男, 木全裕子, 藤本雄太, 川口招宏, 小田元太, 齋藤利晃, 大矢根敏夫. キャベツ、ブロッコリーのセル成型苗における常温貯蔵苗の実用性について. 北海道園芸研究談話会会報. 41, p.46-47 (2007)

(3) 専門雑誌記事

環境保全部

○木曾誠二. 北海道における施肥管理を巡る近年の動き. 季刊肥料. 108, p.71-82 (2007)

○北川巖. なるほど新技術「鉄付着防止暗渠土管による管閉塞軽減効果」. ニューカントリー. 648, p.66-67 (2008)

○北川巖. 圃場の総合的な排水改良技術. PAC3. p.28-30 (2008)

○中津智史. 地力窒素の簡易測定と窒素肥沃度に応じた適正施肥推進. 圃場と土壌. 12月号, p.52-55 (2007)

○橋本庸三. 少量でビシッと効かせる化学農薬. ニューカントリー. 54(4), p.20-21 (2007)

○中辻敏朗, 坂口雅己. 有機栽培野菜畑の窒素肥沃度指標とその簡易分析法. 農家の友. 11月号, p.94-95 (2007)

○中辻敏朗. 土づくりと環境保全. ニューカントリー. 645, p.76-77 (2007)

○中辻敏朗. 北海道における有機農業技術研究の現状と今後の展望. 北海道有機農業技術研究年報. 18, p.13-20 (2008)

○中辻敏朗. 有機農業等における土壌の有機物分解能と

窒素肥沃度の重要性. 北海道有機農業技術研究年報. 18, p.52-57 (2008)

○信濃卓郎, 櫻井道彦, 岡崎圭毅, 鈴木克昌. 有機農業への新アプローチ. マテリアルインテグレーション. 20(5), p.49-54 (2007)

基盤研究部

○玉掛秀人, 樋浦里志. 生物工学セミナー(68). 北農. 74, p.222 (2007)

○竹内徹, 平井泰. 生物工学セミナー(69). 北農. 74, p.316 (2007)

○堀田治邦, 佐々木純. 生物工学セミナー(70). 北農. 74, p.59 (2007)

○竹内徹, 樋浦里志. 生物工学セミナー(71). 北農. 75, p.85 (2008)

○堀田治邦. 生物農薬を導入した防除体系. ニューカントリー. 637, p.24-26 (2007)

○堀田治邦. よくわかる Q&A ブロッコリーの病害対策を教えてください. ニューカントリー. 640, p.98-99 (2007)

○堀田治邦. 花きの病害対策—灰色かび病の防除. 農耕と園芸. 62, p.152-155 (2007)

○相馬ちひろ. 小豆抗酸化成分の生理調節機能とその変動. 豆類時報. 47, p.18-24 (2007)

遺伝資源部

○相川宗巖. 北海道における米の高品質・良食味化の取り組みと将来展望. 味噌の科学と技術. 56(2), p.59-65 (2008)

企画情報室

○長尾明宣. かぼちゃの有機栽培における実態と今後の方向. 北海道土壌肥料研究通信. 148, p.47-54 (2007)

○長尾明宣. 有機かぼちゃの生産安定化 シリーズ有機農業の新技术③. ニューカントリー. 640, p.66-67 (2007)

作物研究部

○神野裕信. だったんそば「北海 T8 号」の安定栽培法. 農家の友. 59(6), p.68-69 (2007)

○神野裕信. 道央水田転換畑地域における「ホクシン」の大豆畦間ばらまき栽培法. 農家の友. 59(8), p.90-91 (2007)

○神野裕信. 究極の早まき栽培(初冬まき栽培)テクニ

ック. ニューカントリー. 54(9), p.27-30 (2007)

○神野裕信. 道央水田転換畑地域における「ホクシン」の大豆畦間ばらまき栽培法. ニューカントリー. 54(10), p.64-55 (2007)

○神野裕信. 初冬まき栽培技術の要点. 北海道米麦改良. 39, p.5-8 (2007)

○神野裕信. だったんそば「北海 T8 号」の安定栽培法. ニューカントリー. 55(2), p.62-63 (2008)

○田中義則. 大豆品種選択によるダイズシストセンチュウ対策. 農家の友. 59(4), p.66-67 (2007)

○鴻坂扶美子, 三好智明, 田中義則. だいでず新品種「中育 52 号」. 北農. 74, p.164 (2007)

○田中義則. ダイズシストセンチュウ発生圃場の簡易判定法 (シードテープ法). ニューカントリー. 55(4), p.50-51 (2008)

○田中義則. ダイズの生産と品種—北海道におけるダイズ生産と主要品種の動向. 農耕と園芸. 63(4), p.138-139 (2007)

○田中義則. 粒大が極めて大きく、裂皮の少ない大豆新品種「中育 52 号」. 農家の友. 59(6), p.70-71 (2007)

○鴻坂扶美子. 粒大が極めて大きく、裂皮の少ない大豆新品種「中育 52 号」. ニューカントリー. 6月号 (2007.6)

○神野裕信. 北海道の農業気象 第 4 章 作物生産と気象環境 ② 畑作物 1. 小麦. ニューカントリー 2007 年夏季増刊号, p.137-140 (2007)

○田中義則. 北海道の農業気象 第 4 章 作物生産と気象環境 ② 畑作物 2. 豆類. ニューカントリー 2007 年夏季増刊号, p.141-146 (2007)

○前野眞司. 北海道の農業気象 第 4 章 作物生産と気象環境 ② 畑作物 2. ばれいしょ、てん菜. ニューカントリー. 2007 年夏季増刊号, p.147-150 (2007)

○稲川裕. 実践! 果物健康学(43)ハスカップの利用と健康機能性. 果実日本. 62(5), p.66-69 (2007)

○稲川裕. シーベリー研究会現地検討会の概要報告. グリーンテクノ情報. 3(3), p.25-28 (2007)

○来嶋正朋. リンゴの品種特性. 農家の友. 69, p.48-50 (2007)

○来嶋正朋. りんごの品種特性. あぐりぼーと. 69, p.10 (2007)

生産研究部

○金子剛. 農業体験学習受け入れの注意点を教えてください. ニューカントリー. 639, p.96 (2007)

○金子剛. 畑作条件不利地における農業生産法人の設立誘導手法. ニューカントリー. 646, p.76-77 (2008)

○金子剛. 誰が計画をつくる—今年 1 年の学習内容. ニューカントリー. 647, p.28-29 (2008)

○濱村寿史. 経営簿記「経営を知る」. ニューカントリー. 648, p.30-31 (2008)

○木村義彰. 水稲収穫のポイントについて. あぐりぼーと. 68, p.12 (2007)

○木村義彰. てん菜直播栽培におけるソイルクラスト破碎技術. 農家の友. 59(5), p.101-102 (2007)

○木村義彰. 農薬飛散に伴うドリフト低減技術. ニューカントリー. 55(2), p.24-26 (2008)

○白井康裕. 野菜産地におけるマーケティング活動のポイント. 農家の友. 59(6), p.66-67 (2007)

○白井康裕. タマネギ有機農業の導入による経営安定化方策. 農家の友. 59(8), p.88-89 (2007)

○白井康裕. タマネギ有機農業経営の安定化に向けた産地づくりのポイント. ニューカントリー. 54(8), p.52-53 (2007)

○白井康裕. 農機ピットイン. ニューカントリー. 55(3), p.68 (2008)

○原圭祐. 黒大豆の皮切れ防止対策と小豆の吸水性向上技術. 農家の友. 60(1), p.92-93 (2008)

○桃野寛. 技術特集「農業機械の上手な利用法」更新時をどう見極める. ニューカントリー. 644, p.22-27 (2007)

○桃野寛. 特集「省力化に向けた技術の展望について」今後の省力化技術. ホクレン営農技術情報紙「アグリポート」. 69, (2007.10).

○桃野寛. 少量散布特集「農薬少量散布の今後の方向」農村ニュース. 第 2485 号 (2007.5.28).

○田中一生. 「北海道の新常識」シリーズ/「新米登場!」. ホクレン GREEN. 11 月号, (2007)

○田中一生. 「品種改良」にかける未来展望. ホクレン広報誌「ほくれん四季」11 月号, p.7 (2007)

○田中一生. Prost!の旅 嗚呼絶品!の北海道米. Prost! Vol.04, (2007.11.28).

○田中一生. 「食」の戦争・北海道米が“売れるコメ”になった. 週刊東洋経済 2.23 増大号. p.74 (2007.2.18).

○後藤英次. 農学校 1 年 1 組—土づくりの時間「水田に適した土壌とは」. ニューカントリー. 640, p.32-33 (2007)

○塚本康貴, 北川巖, 竹内晴信. 泥炭土水田における砂質客土埋設工法による米粒タンパク質低減技術. 農業土木北海道. 30, (2007)

○塚本康貴. 乾湿害に負けない圃場づくり. 農家の友. 59(12), p.94-95 (2007)

生産環境部

○中尾弘志. 春まき小麦のムギキモグリバエの発生実態と防除. 農家の友. 60(3), p.38-39 (2008)

○北海道病害虫防除所. 平成 18 年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫. 北農 74, p.176-190 (2007)

○白井佳代. 食酢を使ったイネ褐条病の防除法. ニューカントリー. 54(5), p.64-65 (2007)

○白井佳代. 水稻のいもち病と斑点米カメムシに対する発生対応型防除法. 農家の友. 59(7), p.40-41 (2007)

○白井佳代. 催芽時食酢処理によるイネ褐条病の防除法～温湯消毒と組み合わせた農薬を使わない種籾消毒法～. 農家の友. 60(3), p.60-61 (2008)

○岩崎暁生. 症状から探す! 花につく害虫. ①葉に穴があいた!, ②葉に白い線が走る, ③葉や花弁が変色・脱色する, ④小さな虫が群れている、葉がベトベトする. 花しんぶん. 184, 186, 188, 190 号, p.17 (2007, 2008)

○北海道病害虫防除所予察科. 平成 19 年度に北海道で新たに発生を認めた病害虫. 農家の友. 60(3), p.4-7 (2008)

○相馬潤. 春まき小麦の赤かび病に対する薬剤防除の新しい考え方. ニューカントリー. 639, p.68-69 (2007)

○相馬潤. 北海道小麦の DON 汚染低減に向けた新しい薬剤防除対策～開花期間中の穂を薬剤で保護する～. グリーンレポート. 459, p.10-11 (2007)

○藤根統. タマネギ乾腐病対策の基本は土作り～土壌・肥培管理による防除対策～. グリーンレポート. 456, p.5-7 (2007)

○藤根統. たまねぎの成型ポット苗移植栽培におけるタマネギ乾腐病の多発要因と土壌・肥培管理による防除対策. ニューカントリー. 54(10), p.60-61 (2007)

○藤根統. タマネギ乾腐病の対策は継続した土づくり. 農家の友. 60(2), p.44-45 (2008)

○宮森康雄. 効率的な施肥の重要性について・道内耕地土壌の理化学性の実態とその対応. あぐりぼと. 70, p.1-2 (2007)

○宮森康雄. 効率的な施肥の重要性について・水稻の窒素施肥設計 (生産情報を利用した). あぐりぼと. 70, p.7-8 (2007)

○小野寺政行. 露地野菜畑における有機物重点利用栽培導入のための圃場適性評価. 農耕と園芸. 62(7), p.68-70 (2007)

○Onodera, M. Clean Farming Technology for Vegetables Raised Outdoors: Low Chemical-Input Cultivation Technology. Farming Japan. 41(3), p.22-30 (2007)

○田丸浩幸. 農学校 1 年 1 組土づくりの時間「有機質資材はなぜ必要?」. ニューカントリー. 641, p.32-33

(2007)

技術普及部

○内山誠一. 地域力で農業・農村の未来を開くー営農システム化への壁. ニューカントリー. 640, p.16-17 (2007)

○内山誠一. 経営安定の道ー経営者マインドが最大のエネルギー. ニューカントリー. 648, p.16-17 (2008)

○内山誠一. 求められる経営管理の原点ー評価の視点・机上の計画から農場の実践へ. ニューカントリー. 臨時増刊号, p.26-43 (2007)

○内山誠一. 大地の星と初冬まき春小麦で経営安定. 農家の友. 59(10), p.82-83 (2007)

○飯田修三. 目的に合わせた融雪促進で良質小麦生産を. 北海道米麦改良. 41, p.1-3 (2008)

○池田信. ブロッコリー栽培における病害虫防除. 農家の友. 59(12), p.28-29 (2007)

○池田信. 水稻の病害虫防除. 北海道米麦改良. 36, p.6-9 (2007)

○池田信. 雪腐病防除で良質小麦の安定確収を. 北海道米麦改良. 39, p.1-4 (2007)

○池田信. 水稻の病害虫防除のポイント. ホクレン営農技術情報誌 あぐりぼと. 67, p.10-11 (2007)

○古原洋. 北海道の農業気象 水稻ー気象災害防止対策. ニューカントリー. 臨時増刊号, p.131-136 (2007)

○川口招宏. 特集北海道ブロッコリーセミナー報告「北海道におけるブロッコリーの栽培状況について」. 農家の友. 59(12), p.20-21 (2007)

○川口招宏. よくわかる Q & A「セルリーのハウス促成作型の栽培管理を教えてください」. ニューカントリー. 645, p.72-73 (2007)

○川口招宏. 北海道の農業気象 第4章 作物生産と気象環境 ④ 施設野菜 2ほうれんそう、すいか. ニューカントリー. 夏季増刊号, p.163-165 (2007)

○乙部裕一. 緑肥で地力をパワーアップ! 栽培の要点とすき込み法. ニューカントリー. 641, p.23-25 (2007)

○乙部裕一. 環境に優しい農業の進め方 防除ガイド・施肥ガイドの順守から. ニューカントリー. 646, p.23-25 (2008)

○乙部裕一. ぼかし肥料って何ですか. ニューカントリー. 647, p.88-89. (2008).

(4) 著編書資料

環境保全部

○北川巖, 中本洋, 竹内晴信. 鉄付着暗渠土管による低コストな閉塞軽減効果. 農村工学研究所成果情報. 2007. p.113-114

○中本洋. 北海道農業を支える土づくりパートⅢー園芸の土づくり 土づくり技術情報「園芸編」. 北海道農政部監修. 北海道農協「土づくり」運動推進本部. 2007. p.62-69

○富沢ゆい子. IV土壌改良資材のはたらきと活用.” 土づくり技術情報「園芸編”. 北海道農協「土づくり」運動推進本部. 同発行, 2007. p.50-59

企画情報室

○安積大治, 農業リモートセンシング・ハンドブック. 秋山侃・石塚直樹・小川茂男・岡本勝男・斎藤元也・内田諭編著, システム農学会発行. 2007. I -032, II -030

作物研究部

○田中義則. 指定試験事業 80 周年記念誌 北海道立中央農業試験場 大豆育種指定試験地. 農林水産技術会議事務局. 2008, p.89-94

○鈴木千賀, 田中義則. 6 複数遺伝子に支配されるダイズシスト線虫抵抗性の高精度マーカーを用いた育種法開発 (1209) DNAマーカーによる効率的な新品種育成システムの開発. 農林水産省農林水産技術会議事務局. 2008, p.127-132

○田中義則, 竹内徹, 鴻坂扶美子, 三好智明, 兼平修, 堀田治邦, 紙谷元一, 佐々木純. 8 ダイズわい化ウイルスを媒介するジャガイモヒゲナガアブラムシ抵抗性に関するDNAマーカー選抜技術の開発 (1202) DNAマーカーによる効率的な新品種育成システムの開発. 農林水産省農林水産技術会議事務局. 2008, p.135-138

生産研究部

○白井康裕. 第3章2. 水田経営の体質強化のための経営管理手法. 農業経営ステップアップ作戦. 黒澤不二男監修. 北海道協同組合通信社, ニューカントリー編集部. 2007. p.75-95

○丹野久. 栽培環境と作付け基準. 北海道の農業気象. 水島俊一監修. 北海道協同組合通信社. 2007. p.125-130

生産環境部

○中尾弘志. 野菜の病害虫防除 Vol.4 葉菜類Ⅱ(ホウレンソウ・ブロッコリー・ネギ・タマネギ・アスパラ・セル

リー). 上路雅子監修. 全国農業改良普及支援協会. 2007, p.230

○中尾弘志. 野菜の病害虫防除 Vol.5 根菜類・いも類(ダイコン・ニンジン・ジャガイモ). 上路雅子監修. 全国農業改良普及支援協会. 2007, p.191

○中尾弘志. 野菜の病害虫防除 Vol.6 豆類・その他(サヤエンドウ・トウモロコシ・カボチャ). 上路雅子監修. 全国農業改良普及支援協会. 2007, p.160

○岩崎暁生. ② 病害虫発生予測, 1.害虫. 畑で読むー北海道の農業気象. 北海道協同組合通信社. 札幌, 2007, p.191-200

○小野寺政行. 園芸の土づくり 土づくり技術情報「園芸編」. 北海道農協「土づくり」運動推進本部. 2008, p.16-34

技術普及部

○池田信. 小麦の害虫と防除法. 北海道の小麦づくり. 北海道米麦改良 (平成 19 年度資料第 1 号). p.141-152 (2007)

○池田信. 病害虫の防除対策. 平成 20 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良 (平成 19 年度資料第 3 号). 北海道米麦改良協会. 2008, p.65-103

○池田信. 豆類の病害虫. 明日の豆作り. (平成 20 年豆作り講習会テキスト). (財)日本豆類基金協会. 2008, p.99-123

○古原洋. 平成 20 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良 (平成 19 年度資料第 3 号). 北海道米麦改良協会. 2008, p.35-49

○乙部裕一. VI 良食味米を目指した土壌管理, 施肥技術. 平成 20 年産に向けての米づくり. 北海道米麦改良 (平成 19 年度資料第 5 号). 北海道米麦改良協会. 2008, p105-127.

○乙部裕一. III 良質小麦生産のための施肥および土壌管理. 北海道の小麦づくり. 平成 19 年度資料第 1 号. 北海道米麦改良協会. 2007, p.61-87

○乙部裕一. 第 4 章 高品質生産に向けた栽培技術 7 施肥量と根粒菌. 明日の豆作り. (平成 20 年豆作り講習会テキスト). (財)日本豆類基金協会. 2008, p.85-89

○川口宏宏. 北海道野菜地図その 31. 農業協同組合中央会, ホクレン. 2008

(5) 新聞等記事

作物開発部

- 鴻坂扶美子. 大豆新品種「中育 52 号」. 農業共済新聞. (2007.4.11)
- 田中義則. 極大粒大豆「中育 52 号」開発. 日本種苗新聞. (2007.6.1)
- 神野裕信. 道農業の検証 道央・小麦一. 日本農業新聞. (2008.1.12)
- 井上哲也. 品種改良味な裏話、サクランボ (桜桃). 北海道新聞. (2007.7.7)
- 来嶋正朋. 北海道におけるリンゴ有望 6 品種. 農業共済新聞. (2007.9. 4 週)

生産研究部

- 原圭祐. 黒大豆の皮切れ防止対策と小豆の未吸水豆低減技術. 農業共済新聞. 第 2719 号. (2007.9.5)
- 丹野久. 水稲・今年の課題 収量・食味の安定へ. 農業共済新聞. (2008.1.23).
- 田中一生. 「水曜インタビュー」19 年産米作柄の分析ー冷害は回避できたか①～④. 北海道共同通信社. (2008.2.20 ～ 25 : 第 14454 号～ 14457 号).

生産環境部

- 岩崎暁生. 2007 年度に特に注意を要する病害虫. 農業共済新聞. (2007.4.4)
- 相馬潤. 新しいデオキシニバレノール汚染対策について～開花始に薬剤散布～. 農業共済新聞. (2007.5.16)

技術普及部

- 飯田修三. 2007 年道農業の検証 (大豆). 日本農業新聞. (2008.1.).
- 請川博基. 経営と技術 道農業の検証 乳牛・乳量と乳質. 日本農業新聞. (2008.1.30).
- 古原洋. 経営と技術 道農業の検証 水稲・道央. 日本農業新聞. (2007.12.25).
- 川口招宏. 2007 年道農業・検証 (野菜・果菜類) 日本農業新聞. (2008.1).
- 請川博基. 哺育・育成管理の見直しで経営の効率化を. 農業共済新聞「北海道営農技術版」. (2006. 7. 4 週号).
- 請川博基. 経営と技術 道農業の検証 乳牛・乳成分. 日本農業新聞. (2007.1.25).
- 古原洋. 経営と技術 道農業の検証 稲作・道央. 日本農業新聞. (2006.12.26).
- 川口招宏. 2006 年道農業・検証 (野菜・果菜類) 日本農業新聞. (2007.1).